

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500030
法人名	株式会社 光里苑
事業所名	グループホーム 貴恵
所在地	鹿児島県いちき串木野市湊町2744番地1 (電話) 0996-29-5571
自己評価作成日	平成31年1月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設し約5年半が経過しました。ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかりと「あったか地域であったか交流みんなで作ろうあったかの輪」の理念のもと、管理者・職員が一丸となって「その人らしさと安心」を大切にできる環境を利用者様に提供できるよう配慮し、日々を楽しく生活を続けられるように努力しております。

また、グループホーム貴恵の独自の心がけとして「6つの心」①「おはようございます」という明るい心②「はい」という素直な心③「すみません」という反省の心④「私がします」積極的な心⑤「ありがとう」という感謝の心⑥「お疲れ様です」というおもいやりの心、を毎朝唱和し、職員同士のチームワークを意識し、さらに利用者様に対する、優しさや思いやりを日々実践できる取組みを心がけております。地域の行事や清掃作業にも参加し、地域の方々との交流を大切にし、グループホーム貴恵独自の行事を開催し、地域交流を深めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は運営母体が医療法人であり、訪問看護ステーションを含めた連携や協力体制が整っている。施設内看護師の支援もあり、医療における利用者・家族及び職員の安心となっている。
- ・高齢者多機能福祉施設として一体的な運営を行い、各事業所間の協力体制が築かれている。
- ・地域行事の六月灯や小学校の運動会見物に出かけたり、施設の秋祭りやそうめん流しには地域からの参加がある。中学生の職場体験学習やボランティアの受け入れ、住民からの野菜の差し入れ等もあり、日頃から地域との交流に努めている。利用者それぞれの地元の祭りにも出かける等、利用者がこれまで過ごしてきた地域や知人との交流にも取り組んでいる。
- ・グループ全体で職員の資格取得支援や研修に取り組んでおり、職員の質の向上及び就業環境の整備を図っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送りやミーティング等で職員が揃った時には「理念」を全員で唱和しています。又グループホーム貴恵独自の姿勢も掲げ唱和しています。	法人及び事業所独自の理念をホール・事務室に掲示し、申し送り時に唱和している。介護計画見直し時に個別のケアの振り返りも行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りに参加したり、施設の誕生会や秋祭りに地域の方にもお越し頂き、地域との交流を大切にしています。	地域行事や住居地の祭りにも出かけ、祇園祭りの山車・踊り連が施設まで来てくれる。地域から施設の秋祭り等への参加や野菜の差し入れがあり、中学生の職場体験学習・ボランティアの受け入れ等も行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加したり、事業所からも様々な情報発信を積極的に行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の小規模多機能ホーム実恩と合同で開催している運営推進会議では、施設の状況や活動報告を行い内容について意見を聞き、質の向上に取り組んでいます。地域行事についても運営推進会議を通して情報を得ることが多く地域交流に活かしています。	運営推進会議は定期的に行っている。事業所の状況報告と共に意見交換を行っている。地域行事の情報を得たり、多彩な立場の参加者からの意見を聞き、事業所の取り組み等への理解を深めてもらう機会ともなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議などで市町村担当者と様々な意見や情報交換を行い、日頃の協力関係を築いています。	運営推進会議時の意見交換や出向いての相談等で、市の担当者との連携を図っており、介護相談員も受け入れている。市主催の研修会に参加して情報交換にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会やミーティングで職員が高齢者虐待、身体拘束等の認識を図り、身体拘束のないケアの取り組みを行っています。日々の申し送りにおいても、身体拘束が行われないことがないようにケアについて話し合っています。	指針を作成しており、委員会を毎月、研修会は年2回実施している。馴れ合いにならないよう言葉使いに気をつけ、気付いた時はその場で注意をしたり勉強会でも取り上げている。玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には一緒に散歩をしたりして、拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティングで職員が高齢者虐待防止法について勉強したり、困っている事例があれば「身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会」で職員同士が話し合いを持ち、申し送りやミーティングで報告する事で理解を深め虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会やミーティングの中に取り入れ、職員全員が地域福祉擁護事業や成年後見人制度について理解できるよう研修に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分時間をとり、利用者様・ご家族に理解して頂けるように詳しく説明しています。また看取りについて、医療連携体制、必要な方には居宅療養管理指導についても時間をかけ説明し、納得して頂けるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様が日頃話している言葉や態度、またレクリエーション時や食事時、お茶の時間、面会時などに話をお聞きしミーティングや担当者会議等で職員全員が利用者様やご家族の声に耳を傾けることで、ケアや運営に反映出来るよう努めています。	利用者には日常の会話の中で話しやすい雰囲気作りに努め意見を聞いている。会話が難しい時は表情や反応・しぐさで推測している。家族には、電話・家族会・年1回のアンケート調査で意見を出してもらったり、面会時に近況報告を行うと共に要望等を聞き、反映できるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	勉強会やミーティング、毎日の申し送りなどで意見を聞くようにしています。又日頃よりコミュニケーションを図り、いつでも意見や要望が聞けるような職場作りに努め、働く意欲や質の向上に取り組んでいます。	管理者は、勉強会やミーティングで提案等を聞く機会を設けている。日常業務の中で職員に言葉かけをして相談を受けたり、必要時に個人面談で意見を聞いて、提案等を反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が常に向上心を持って働くことが出来るよう資格取得の支援や資格を生かすことが出来るような労働環境作りに努めています。又、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得支援にもグループ全体で取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内はもちろん事業所外で開催される研修にも希望を取り、職員一人ひとりに合った研修なども見極め受講できるよう努めている。また勉強会などで報告し、全職員が資料等を閲覧できるよう取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会主催の研修や県や市の研修、その他必要な研修があれば参加し、他事業所等のスタッフとの交流を深め質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前に訪問し、ご本人の思いに耳を傾けコミュニケーションが図れる様努めています。ご本人に安心して頂き信頼関係が築けるようケアに取り組んでいます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付時や入居時、契約時にご家族が困っていること、不安や要望等をお聞きしケアに反映させる事で安心感を持って頂けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様、ご家族が必要としている支援については柔軟な対応を行ない他のサービスにおいても、職員ならびに主治医等と交え、対応を話し合いご利用者やご家族の意向に答えられるよう取り組んでいます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人の思いを大切に、コミュニケーションを図り小さな変化にも気付けるよう努めています。年長者として利用者様と接する事でお互い支え合う関係が築けるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来られた際は現在の状況を報告し要望やご本人の思いをお聞きしたりする事で多くの関わりを持ち信頼関係を築くことで、ご本人により良い支援が提供できるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が希望される際は馴染みの美容室を利用されたり、地域の顔なじみの方が面会に来られた際は一緒にゆっくりお茶を飲んで頂きお話しして頂ける環境作りに努め、馴染みの関係が継続できるよう取り組んでいます。	家族や知人の面会時にはお茶を出して、ゆっくりしてもらえるようにしている。家族と馴染みの美容室を利用したり、職員が墓参りや自宅訪問に同行する等、これまでの関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気のあうご利用者同志や昔なじみの方々などご利用者同志の関係を把握し良好な関係が継続できるよう支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	グループホームを退居されサービスが終了しても、入院されている方にはお見舞いに伺い、ご家族にはいつでも相談に応じる事を話し、関係が継続出来るよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の言葉や行動、表情などから思いや希望、意向の把握に努めています。また意思疎通が困難な方はご家族からお話をお聞きし、ご本人の思いを汲み取れるよう努めています。	入浴時や夜間等にゆっくり話を聞いたり、介護相談員との面談から本人の思いを把握するように努めている。難しい場合は、家族の情報を参考に、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	相談受付時や契約時、面会時などに利用者様やご家族にゆっくりと少しずつお話をお伺いし、お一人おひとりの生活歴や暮らし方を把握しケアに生かせるよう取り組んでいます。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の生活についてご家族よりお聞きし、お一人おひとりの生活リズムを考え「その人らしさ」を大切にしながら心身状態、できることなどを把握しケアに生かせるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様やご家族の思いや意向をお聞きし、主治医の助言や職員の意見を聞き担当者会議でケアの方針に点いて話し合っています。	利用者・家族の希望や主治医の意見を基に、職員で担当者会議を実施し介護計画を作成している。毎日のケアプランチェックをもとにモニタリングを毎月実施し、6ヶ月毎及び必要時に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケアプランやモニタリングチェックを行い、気づきがあれば個別に記録し、毎日の申し送りや毎月の担当者会議等で情報共有しながら実践し介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者やご家族の要望に臨機応変に対応し満足していただけるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様が地域での暮らしを続けられるよう民生委員やボランティア、地域住民の方々との交流する機会が多く持てるよう努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様やご家族の希望を含め、主治医や看護師との医療連携を密に図り、異常時の早期発見、早期対応に努めています。	利用者・家族の希望するかかりつけ医との関係を大事にしている。定期的な主治医の往診及び訪問看護師の訪問・施設内看護師の助言等により、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ゆのもと記念病院との契約に基づき日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行っています。訪問看護ステーションの看護師とは気軽に相談できる関係が出来ている為、いつでも相談、連携が図れるような体勢を確保しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医療機関へ利用者様の情報を提供し、入院中は職員が見舞ったり、病院関係者やご家族との連携を図り安心していただけるよう取り組んでいます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に終末期について説明を行い、ご家族の希望があれば終末期に向け利用者様、ご家族、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしていますが、まだ終末期を施設で希望される方はおられません。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針により説明し、毎年家族会時にも家族の意向を確認している。重度化等の場合には、家族の意向を再確認し、意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>施設研修等で防火管理者をはじめ、消防関係者の協力も得て救急手当や蘇生術の実技を取り入れています。また緊急時対応についてはマニュアルを作成、周知徹底し緊急時の対応に備えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回を予定し利用者様と地域の方に協力を頂き、避難訓練等を実施できるよう地域協力体制については運営推進会議を活用し、また隣接している光里苑ハイツと協力し緊急時に対できるよう取り組んでいます。</p>	<p>年2回の避難訓練を実施し、1回は消防署の立ち会いがある。緊急通報装置を設置したり、職員間の協力体制を築いている。備蓄は水や米・インスタント食品・レトルト食品・ご飯等及びランタン・ヘルメットを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会やミーティングで職員が個人情報保護法の意識向上を図るとともに利用者様の尊厳を大事にするよう対応しています。	マニュアルがあり、勉強会や研修に参加してひとり一人の尊厳を大切にしている。排泄時の誘導は周りに気づかれないようにさりげない声かけで行っている。入室時の声掛けや職員間での番号による排泄情報の伝達等、利用者の誇りやプライバシーを尊重した対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側で決めた事を押し付けるようなことなく複数の選択肢を提案して入居者様一人ひとりの意思を尊重し、利用者様がご自分で選択できる環境作りを心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるものの利用者様一人ひとりの体調や気持ち、ご家族から伺った情報に配慮しながら柔軟対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様お一人おひとりの生活習慣に合わせる支援をし、支援が必要な方は職員と一緒に考えご本人の気持ちに沿った支援が出来るように心掛けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の時間や会話の中で食べたい物を伺い、お一人おひとりの嗜好を考慮した献立をたて、買い物・調理・片づけを利用者様と共に行い、職員と利用者様が楽しく食事出来るよう雰囲気作りも大切にしています。	職員が嗜好を聞き旬の物を取り入れて献立を作成している。利用者と一緒に買い物や下ごしらえ・片づけをしたり、餃子・煮物・行事食を作ったり、花見や敬老会・バーベキュー・そうめん流し・外食等で、楽しく食事ができるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日記録し、一人ひとりの状況によっては栄養士に相談・助言を戴き支援に活かしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	希望される利用者様は毎月歯科往診を受けて頂きながら、毎食後お一人おひとりの口腔状態や能力に応じた対応を行なっています。毎食後は必ず義歯洗浄を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意が無い方でも時間を見てトイレにて排泄出来るよう支援しています。時間や習慣を把握しトイレ誘導によりトイレでの排泄を流しています。	排泄記録を毎回記録し排泄パターンを把握して利用者に応じた声掛けや見守り・誘導を行って、トイレでの排泄を基本にした支援をしている。排泄用品も個々に応じた物を検討して、適切に使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や散歩、軽体操により自然に排泄出来るよう支援しています。時間や習慣を把握しトイレ誘導によりトイレでの排泄を促しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決めてありますが、毎日利用者様に尋ね、希望があればその時間以外でも入浴できるように努めています。	週2～3回午前中の中の入浴を基本にしているが、希望があれば柔軟に対応している。入浴剤を使ったり2人介助や同性介助も必要に応じて実施し、入浴を嫌がる場合も無理強いせずに職員を変えたり時間をずらしたりして気持ち良く入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、体調や表情を考慮し、ゆっくり休息がとれるよう支援しています。寝付けない時は話をしたり寄り添いながら一緒に過ごしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服のお薬情報や一覧表にて職員全員が内容を把握出来るようにしています。処方の変更があった場合は日々の申し送りや担当者会議などで申し送り全員が把握し、服薬後の状態変化も含め対応出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理、掃除等の活動の中でお一人おひとり力を発揮して頂き、お手伝いを頂く中で励ましや労いの支援をしています。また毎日仕事を生きがいとしお手伝い下さる方もいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者様の希望に応じて、散歩・買い物・自宅帰省・ドライブなど外出により季節を感じてもらえるように支援しています。	日常的に菜園の手入れや買い物に出かけたり散歩している。年間計画で花見や秋の遠足等の外出をしたり、その日の状況や希望で、墓参りや自宅訪問・ドライブ・外食にも出かけている。家族とお茶や食事・法事等に出かけたり外泊もしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の協力にて、少額のお金を持っておられる方もいらっしゃいます。買い物に出かけた際は利用者様にご自分で支払って頂き買い物の楽しみやお金の大切さを理解してもらえるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者様の希望に応じて電話で話して頂いたり、年賀状や暑中見舞いなど季節のご挨拶などを利用者様と一緒に書き、ご家族や大切な方との繋がりが継続できるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々のレクリエーションの中で利用者様と季節を感じられる壁画や置物を作りフロアや玄関に飾ったり、フロアで寛げるようなソファ等も設置しています。又居室には温度・湿度計も設置し居心地よく快適な環境で生活出来るよう工夫配慮しています。	天井が高く全体的に広い空間になっている。エアコンで温度調整を行っている。玄関の花やフロアの作品・飾り物で、季節を感じるようにしている。死角になる廊下にミラーを設置し、職員の目が届くように工夫し、ソファで利用者が思い思いに居心地良く過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを置き寛いで頂いたり気のあった方とおしゃべりしたりご家族とゆっくり過ごす事が出来るよう雰囲気作りに努めています。又、併設の光里苑や小規模多機能実恩と一緒に毎月の誕生会を開いたり音楽祭や、運動会なども合同で開催し、入居者様同志の交流を図っており楽しんで頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様、ご家族とも相談して写真やテレビ、愛着のあるものをお持ち頂き安心して居心地よく過ごして頂けるよう工夫しています。	寝具はリースで清潔である。状態に応じ電動ベッドをマットと布団に変えている。テレビや衣装箱・洋服掛けの使い慣れた物や写真等を身近に置いて本人が安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内外ともバリアフリーの設計となっており、さらに浴室には滑り止めや手すりを設置するなど福祉用具も活用し安全確保への配慮をし、ご本人の自立に向けて支援に努めています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない